

季刊

はまかせ


 国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
 日本医療機能評価機構・平成16年認定
 Hamanomachi Hospital
 2019 July. **第75号**



(写真撮影者 吉谷 雅彦)

CONTENTS

- 専門の立場から
カテーテルアブレーションについて
..... 小河 清寛
- 放射線部技師長 新任のご挨拶
- 新管理者のご挨拶
- 地域医療連携課だより
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

理念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>

地域連携だより

登録医から 一言

福岡みなと在宅医療クリニック

院長 中堀 亮一

〒810-0062 福岡市中央区荒戸1-3-20

TEL : 092-791-4860

FAX : 092-791-4870

URL : <https://fukuoka-minato.com/>



平成31年4月に中央区荒戸に開業いたしました「福岡みなと在宅医療クリニック」の中堀と申します。九州大学医学部を卒業し、九州大学病院や九州医療センター、佐賀県医療センター好生館で修練を積んで参りました。外科での修練の間に、在宅医療に携わりたいと切に思うきっかけがあり、在宅医を目指す決心をしました。

在宅医療をやるには看取りを含めた緩和ケアの知識は必須であると考え、栄光病院で緩和医療専門医を取得したのち、在宅医療のフィールドに出ました。選んだ場所は東京です。近年の在宅医療はICT化が進み、タブレット端末を利用したオンライン診療やスムーズな医療連携のためのインターネットFAXの使用、ウェアラブル端末を利用した遠隔医療など、これまでになかった発展・進化がみられています。そのような最先端の在宅医療を学んで福岡に持ち帰るために、東京の在宅医療を学ぼう！と決め、修練を積んで参りました。

オンライン診療は皮膚疾患や褥瘡の経過確認に便利ですし、インターネットFAXを使えば車で移動中にモバイルPCから診療情報提供書も処方箋も所望の場所に瞬時に送れます。ウェアラブル端末を使えば、自分はクリニックにいたままで、自宅にいる患者さんの心拍数やSpO2も確認できます。なんて便利な世の中なのか！と思ったのも束の間、そうじゃないことに気づきました。

便利は便利で間違いはないのですが、これは患者さん

不在の発想で医療者側だけの視点で考えてしまっていることに気づきました。

働き方改革が叫ばれる昨今、もちろん医療者の負担軽減は在宅医療でも重要な課題なのですが、寄り添うとか支えるとか、安心や信頼といったことはデバイスでは不可能なのです。往診に行き、直接確認して、言葉をかけることが何より患者さんやご家族の安心につながります。便利な道具は、あくまで便利な道具として活躍してもらい、根底にある在宅医療の温かさを忘れてはいけない。東京に行って一番学んだことはこれでした。

「福岡みなと在宅医療クリニック」の「みなと」の意味は、「中央区港町」のすぐ近くにあるということもありますが、一番の意味は、病院の皆さんや在宅医療に関わる全ての職種の「皆と(みなと)」一緒に力を合わせて素晴らしい在宅療養を実現するということから来ています。当院スタッフ一同、精一杯努力して参りますので、浜の町病院のスタッフ皆様、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

